



平成17年5月



三島労働総合庁舎

静岡県 の 東部に位置する三島市に、労働基準監督署及び公共職業安定所（ハローワーク）が入居する三島労働総合庁舎が平成17年2月に完成しました。

将来の利用変化にも対応できる無柱空間の執務スペースを実現しているほか、環境負荷低減対策やバリアフリーへの積極的な取り組みにより、来庁者にとっても入居者にとっても利用しやすい施設となっています。

巻頭言	2	政令指定都市移行に伴う区役所庁舎の建設	6
平成17年度主要施策について	3	中部地方整備局営繕新幹部紹介	8
平成17年度の新規主要事業	4	中部地方整備局営繕ニューフェイス紹介	8
「ユニバーサルデザインの視点に立った 浜松合同庁舎整備研究会」について	5		



巻 頭 言

中部地方整備局 営繕部長 田中 晃

中部地方整備局に赴任してから1年が経ちました。振り返ってみるとあつという間の1年だったといえそうです。この1年の間に中部国際空港の開港、愛地球博の開幕など大きな事業が完成しました。営繕部でも、総力あげ、この2大プロジェクトのために、空港島に合同庁舎、麻薬探知犬管理センターを、博覧会長久手会場に長久手日本館、瀬戸会場に瀬戸日本館を建設してきました。そして、これらの施設を短期間にしかも高い品質で完成するという立派な成果を上げることができました。この2大プロジェクトで多くの職員の皆さんが貴重な経験を得られたとことと思います。今年度はその貴重な経験をもとに組織力を高め、着実に成果を上げていきたいと思います。

今年度は、ポスト万博の始まりの年になります。万博開催、空港開港に併せて大規模な公共事業が続いた後の地域開発をじっくり考えていく年の始まりです。中部地方整備局では中部地方運輸局とともに「まんなか懇談会」の提言を受け、中部地方の国土づくりを着実に進めていくこととしています。営繕部においても、シビックコアを中心に地域のまちづくりに積極的に参加していくことが重要です。浜松シビックコアには念願の合同庁舎の予算が認められ、工事に着手することになりました。これまで、地域の方々とワークショップを行うなど、地域の方々と一体となったまちづくりに取り組んできた成果を出す段階になりました。岡崎シビックコアでは、合同庁舎完成後のまちづくりが継続して進んでいます。高山シビックコアでは、計画同意後の協議が続いています。まちづくりは息長く取り組んでいくことが重要です。合同庁舎の建設だけにとらわれず、地域の方々とともにまちづくりに参加していきたいと思います。

また、この東海地区では東海地震、東南海地震、南海地震への対策が喫緊の課題となっています。三の丸地区の重要施設の耐震改修は、名古屋第2合同庁舎の改修が終われば、一応の目途がつきますが、残された施設の耐震改修の推進だけではなく、震災後の復旧体制の整備等に万全を期していく必要もあります。昨年度末からマニュアルの見直し等に取り組んでいますが、職員一人一人が緊張感を持って取り組んでいく必要があります。職員の皆さんの積極的な参加を期待しています。

最後になりましたが、マネジメント改革についてもふれたいと思います。中部地方整備局営繕部では3年計画で改革に取り組んできました。今年度はその3年目にあたります。マネジメント改革の成果が問われる年に入ったということです。今まで2年間の改革の取り組みの中で、目に見える成果も出てきました。その一端はE-交流館でも紹介されています。このような成果をすべての改革の取り組みで実現していきたいと思います。

しかし、マネジメント改革で一番重要なことは、職員一人一人の意識の改革です。私たちが常に顧客の目線に立ち、顧客の満足度を最大限にすることを意識して仕事に取り組んでいけるかどうかは改革の成否がかかっているのです。昨年の巻頭言で申し上げたように、日々の仕事の中でいつも、どうすれば施設を利用する人たちに満足していただけるのか、そのためにはどのように仕事を進めるべきなのか考え続けることが重要です。

また、顧客主義を日指すマネジメント改革に終わりはありません。plan、do、check、actionを繰り返すPDCAサイクルを確立し、常によりよいものを求めていかなければなりません。顧客の喜ぶ姿が私たちの喜びとなるよう、この1年マネジメント改革に取り組んでいきたいと思います。

平成17年度の主要施策について

1. 営繕部の主要施策について

営繕部では、官庁営繕事業における政策課題に的確に対応するため、①暮らし②安全③環境を主な柱として、官庁施設整備を推進しています。

2. 今年度の予算概要

営繕部の予算は、国土交通省直轄予算である官庁営繕費、各省庁から委任される支出委任、地方自治体・独立行政法人から委託される受託となっており、平成17年度の当初予算は、前年度の当初予算と比較して約0.71倍の51億3千万円となっています。

(5/1現在、59億5千万円)

今年度は、魅力とにぎわいの拠点となる「浜松市シビックコア地区」に国の核施設となる浜松地方合同庁舎を「高度なバリアフリー化庁舎」および「グリーン庁舎」として新規に整備します。

また、想定される「東海地震、東南海・南海地震」などの大規模地震に備え、既存官庁施設の必要な耐震性能を確保するための耐震改修、及び既存官庁施設における自然環境への影響を低減するための、グリーン改修(環境に配慮した改修)を重点的に推進します。

3. 平成17年度の完成施設

- ・ 静岡地家裁浜松支部・浜松簡裁庁舎

(SRC-5-1, 延べ6,316㎡)

- ・ 動物検疫所中部空港支所検疫場

(犬猫検疫棟ほか RC-1, 延べ876㎡)

ほかに、岡本宿舎(RC-2, 延べ217㎡)を完成させると共に、三重県警察学校生徒寮ほか(RC-6, 延べ4,331㎡)、静岡県警察学校武道場(RC-1, 延べ1,319㎡)の整備を新規に着手します。

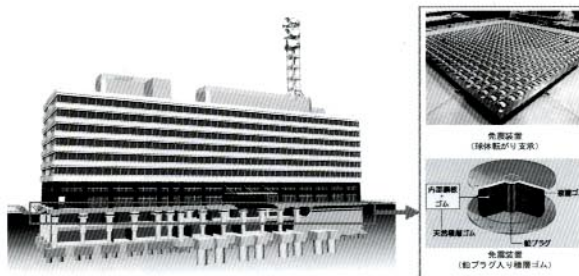
*SRCは鉄骨鉄筋コンクリート造、RCは鉄筋コンクリート造を示し、数字は地上階数、地下階数及び延面積を示す。

4. 平成17年度の耐震改修工事

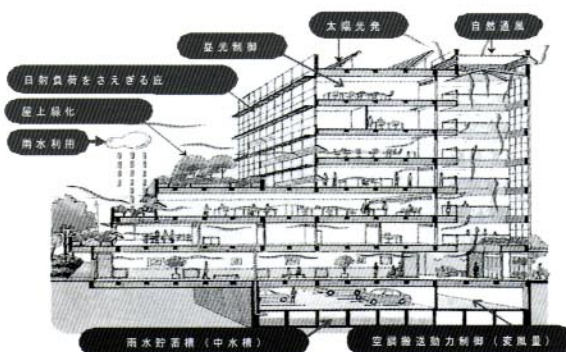
今年度は、東海財務局庁舎、名古屋農林総合庁舎、中部管区警察学校学生寮、清水海上技術短期大学校本館の耐震改修工事を完成させます。

また、名古屋第2地方合同庁舎(免震改修)、名古屋高裁・地裁・簡裁合同庁舎の整備を継続して実施します。

このほか、高齢者・身体障害者はもとよりすべての人が安心して施設を利用できるように、窓口官署の入居する既存施設へのエレベーターやスロープの設置(鳥羽運輸総合庁舎など6施設)や、環境に与える影響を削減するため、環境負荷低減技術を活用した空調設備改修・照明設備改修(名古屋国税総合庁舎など10施設)などを実施します。



名古屋第2地方合同庁舎 耐震改修イメージ図
(免震レトロフィット)



環境配慮型官庁施設(グリーン庁舎)
整備イメージ図

(計画課 坂元幸一)

平成17年度の新規主要事業

浜松地方合同庁舎

1. 事業概要

「浜松市シビックコア地区」は、平成10年4月に承認を受けており、現在進められている土地区画整理事業やまちづくり総合支援事業などと整合を図りつつ、魅力とにぎわいのある都市の拠点づくりをめざして整備が進められています。

「浜松地方合同庁舎」は、現在官公庁街区に建設中の静岡地方・家庭裁判所浜松支部、浜松簡易裁判所庁舎（平成17年11月完成予定）と並んで「浜松市シビックコア地区」の中核施設で、照明の昼光制御や高遮熱ガラスなど環境負荷低減技術を活用した「グリーン庁舎（環境配慮型官庁施設）」及び多目的トイレや総合案内表示など、全ての人が利用しやすい庁舎を目指し、ユニバーサルデザインを視野にいたした「高度なバリアフリー化庁舎」としての整備を行います。

整備にあたっては平成14年度に「浜松合同庁舎の外部空間に関するワークショップ」を開催し、合同庁舎敷地内に計画されている「シンボルガーデン」に関して、県の庁舎も含めた街区全体の連携やウッドデッキ、ストリートファニチュア等について提案をいただきました。平成15年度には、「経過報告会」を開催し、整備の進捗状況について説明を行い改めて意見をいただいています。

また、昨年度にはユニバーサルデザインの視点に立った合同庁舎整備を推進するため、ワークショップ形式による「整備研究会」を開催し、フロアごとに用途に合わせた多目的トイレの設置や総合案内表示など住民の方々から出された意見を採り入れ、より開かれた合同庁舎の整備を推進しています。

2. 施設概要

■所在地

浜松市東田町132-1

（浜松市シビックコア地区「官公庁街区」）

■構造・規模

鉄骨造 地上12階地下2階 延べ18,674㎡

■人居官署

横浜防衛施設局浜松防衛施設事務所
自衛隊地方連絡部浜松出張所
静岡地方検察庁浜松支部・区検察庁
静岡保護観察所浜松駐在官事務所
静岡地方法務局浜松支局
名古屋入国管理局浜松出張所
浜松西税務署
浜松労働基準監督署
浜松統計・情報センター

■工期

平成17年度～平成20年度



官公庁街区 整備イメージ図



整備研究会風景

（営繕部 坂元幸一）

「ユニバーサルデザインの視点に立った浜松合同庁舎整備研究会」について

浜松地方合同庁舎では、ユニバーサルデザイン（以下、「UD」）の考え方を導入し、すべての人に優しい庁舎として整備するため、ワークショップ形式による「ユニバーサルデザインの視点に立った浜松合同庁舎整備研究会」（以下、「研究会」）を設置し、UDの視点からの検討（UDレビュー）を設計段階から実施しています。研究会には、専門家だけでなく、公募で募集した障害をお持ちの方、市民ボランティアの方、外国の方等が参加していただきました。

1. 整備研究会の概要

整備研究会は、浜松まちづくりセンターで第1回を平成17年1月22日に、第2回を平成17年3月5日に行いました。

コーディネーターを、静岡文化芸術大学大学院の川口教授に依頼し、ワークショップのファシリテーターを、NPO法人福祉のまちづくり市民ネットワーク専務理事の内田さん及び（株）山下設計の伊藤さんに願いました。

参加者は、市の広報などで公募し、約30名の参加を頂きました。

2. 第1回研究会開催概要

浜松地方合同庁舎の計画概要を説明し、現地見学を行ったあと、A、Bの2グループに分かれていただき、ワークショップ形式による討議を行い、必要な機能や問題点などについて意見を頂きました。

参加者の方々からは、実体験にもとづく約120項目もの意見が寄せられました。

3. 第2回研究会開催概要

第1回研究会で頂いた約120項目のご意見を、①設計で対応できる項目、②今回研究会で詳細検討する項目、③施工段階で詳細検討する項目の3項目に分類しました。

①については、廊下の幅員や身体障害者用駐車場などについて、設計に反映させる内容を説明しました。

②の項目である多機能トイレや誘導ブロック、サインなどについて各グループで討議してもらい、より詳細なご意見をお伺いしました。

各階ごとに様々なタイプの多機能トイレを導入することや、サインを3カ国語（日本語、ポルトガル語、英語）で表示すること、点字の表示の仕方、誘導ブロックの位置・長さ・仕様などの基本方針を検討することができました。



4. 今後の予定

設計段階での検討については平成16年度で終了し、今後は庁舎施工段階で再度研究会を開催（平成18年度以降）し、サインの色や大きさ、多機能トイレ内の機器等の詳細な位置などを検討する予定です。

政令指定都市移行に伴う区役所庁舎の建設 ～本市発注公共建築物で初の免震構造採用～

I. はじめに

静岡市は平成17年4月1日に全国14番目の政令指定都市に移行しました。

政令指定都市移行にあたり、静岡市域を葵区、駿河区、清水区の3つの行政区に分けるとともに、各行政区には区役所を設置することになりました。

葵区、清水区の区役所は、旧静岡、清水両市役所の低層部分を使用することとしましたが、駿河区には、新たに区役所を設置する必要が生じたため、平成15年度から駿河区役所の建設を進め、本年1月に完成しました。



静岡市行政区域図

II. 区役所の設計及び建設

1. 区役所の基本設計及び実施設計

基本設計は、平成15年4月に新設された政令指定都市準備課に配属された建設スタッフにより、短期間で行われ、基本設計承認後の8月初旬に実施設計の委託発注が行われました。

実施設計についても、8月末から11月中旬までという短期間の設計で、区役所の組織等が具体的に示されないという非常に困難な状況の中での作業となり、平面計画は共用部分やコア部分等確定している部分の設計とし、それ以外はスケルトンでまとめた状態での工事発注となりました。

なお、未確定部分の間仕切壁やカウンター、サイン等は設計変更での対応となりました。

○設計概要

- ・まちづくりの拠点となる区役所として、ユニバーサルデザインを活かした、市民だれもが親しみやすく、利用しやすい施設としています。
- ・今後心配される東海地震等の災害時の防災拠点となるべき施設であることから、災害後も建物機能の保持に優れた、免震構造を本市発注の公共建築物として初めて採用しています。

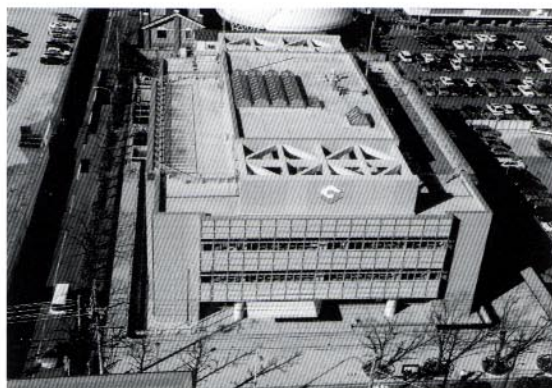
2. 区役所の建設

区役所の建設は、平成16年2月末に着工し、平成17年1月末の完成を目指して工事を行いましたが、11ヶ月という非常に短い工期内の完成は、政令指定都市移行に伴う絶対的なものでした。

その道のりは例年にない台風にも何度も見舞われるなど、平坦なものではありませんでしたが、建築、設備業者をはじめ、当工事に携った全ての人達が区役所建設の重要性を理解しており、迅速な対応で連絡・調整等を行っていただき、無事工期限内で完成することができました。

Ⅲ. 駿河区役所の概要（庁舎本体）

- ・建設場所 静岡市駿河区南八幡町地内
- ・構造 鉄骨造4階建 免震構造（基礎免震）
- ・敷地面積 4,671.31 m²
- ・延床面積 5,543.13 m²
- ・工期 平成16年2月25日から平成17年1月31日まで
- ・総工費 1,971,226千円（設備、外構、サイン工事を含む）



正面



正面玄関内部

1. 駿河区役所の特徴

①免震構造の採用

- ・建築基準法に基づく国土交通省の告示による免震構造を採用しています。

②ユニバーサルデザインを活かした施設

- ・ユニバーサルデザインを取り入れ、ハートビル法の基準に適合した施設としています。

③環境にやさしいエコ製品やリサイクル製品の利用

- ・外壁のPC版は、廃ガラスを再利用したエコ製品を使用しています。

④雨水流出抑制のための貯留施設の設置

- ・屋外の駐車場下部に約250tの貯留槽を設置し、雨水流出の抑制を図っています。

2. 駿河区役所免震構造概要

本建物は、基礎部分に免震装置を設置した免震建物です。

免震装置は、実績の多い天然ゴム系積層ゴムアイソレーターを主軸に、弾性すべり支承と鉛ダンパーを採用しています。

建物の構造は鉄骨造で、免震構造としては比較的軽いため、積層ゴムアイソレーターを全ての柱下に配置すると十分な免震効果が得られないため、弾性すべり支承を軸力変動の小さい内柱下に配置し、周期を伸ばせるようにしてあります。また、地震エネルギー吸収と暴風時の変位抑制のために、外周部に鉛ダンパーを設置しています。

＜中部地方整備局 営繕新幹部紹介＞ ①氏名②前任地③出身地④趣味⑤ひとこと



営繕積算調査官(4月1日付)

- ①長野 薫 ②四国地方整備局営繕部 ③茨城県 ④スポーツ観戦、ゴルフ
⑤単身生活2年目になりますが健康には十分留意し、品確法の施行など新たな職務の課題に取り組んでまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



官庁施設管理官(4月1日付)

- ①左海冬彦 ②大臣官房監察官 ③長崎県 ④読書、クラシック音楽鑑賞、囲碁専門誌への投稿
⑤本省より現場に近い方が絶対おもしろい。住宅生産へのトヨタ生産方式の応用に関する未完の論文を執筆中。



計画課長(4月1日付)

- ①神谷 剛 ②国土交通局大都市圏計画課 ③大分県 ④ドライブ、地方美術館探訪、ゴルフ、ボーリング
⑤中部は初めてです。皆さんよろしくお願いいたします。



設備課長(4月1日付)

- ①丸太 茂 ②大臣官房官庁営繕部整備課特別整備室 ③神奈川県 ④魚釣り、ゴルフ、スポーツ観戦
⑤初めての単身赴任です。地球温暖化対策を率先して行いたいと思います。



技術・評価課長(4月1日付)

- ①小澤 剛 ②防衛施設庁普天間対策本部工事計画室 ③静岡県 ④ドライブ
⑤中部は6年ぶりの勤務です。技術・評価課は新しい組織でもあり、何事にも新しい日でもって業務を進めていきたいと思っています。



静岡営繕事務所長(4月1日付)

- ①伊藤文也 ②東北地方整備局営繕部計画課 ③宮城県 ④巨人と楽天、中日応援、メダル収集 ⑤東北弁の私ですが、極力通訳が要らないように標準語での会話を心がけたいと思っておりますが、意味不明の場合は遠慮なく聞き返して下さい。「よろしく、して下さい」

＜中部地方整備局 営繕ニューフェイス紹介＞ ①氏名②出身地③趣味④ひとこと



建築課(4月1日付採用)

- ①伊藤貴紀 ②愛知県 ③カラオケ、フットサル、ボーリング
④初めまして、営繕部建築課の伊藤(27歳)です。まだまだ若さを出して頑張っていこうと思います。皆さんよろしくお願いいたします。



建築課(4月1日付採用)

- ①山下雅文 ②神奈川県 ③弓道、散歩、映画
④中部は、学生時代部活の遠征試合で何度も足を運んだ大好きな街です。大学で専攻した建築環境も活かしつつ、全力で営繕事業に携わりたいと思います。



設備課(4月1日付採用)

- ①井上幸彦 ②愛知県 ③テニス、バトミントン、車、PCの自作、ギター
④電気分野にしながら後世に残る公共建築に携わる仕事ができることを大変嬉しく思います。まだまだ若輩者ですがよろしくお願いいたします。



静岡営繕事務所 総務課(4月1日付採用)

- ①田中愛恵 ②愛知県 ③水泳、料理、舞台観賞
④早く仕事を覚えて、周囲から安心して仕事を任せてもらえるようにしたいです。よろしくお願いいたします。

★★★営繕部ホームページへは★★★
<http://www.cbr.mlit.go.jp/>

編集委員 後藤 稲垣 北原 加藤
福山 杉山 細川